



PROGRAM NOTE

2023年3月

リスナーをたずねて「世界の大河アマゾン編



HCJB 日本語放送が南米大陸で活躍されている日本人移住者家族に慰めと心の糧をとどけようと放送が始まったのは1964年でした。そしてその30年後、熱心に番組に聴いてくださっているリスナーの皆様とお会いするために「南米ふれあいの旅」を企画して、ペルー、ボリビア、ブラジルの三ヵ国を一ヶ月間にわたって巡回させてもらいながら長年のお付き合いを肌でたしかめることができました。

日本が真夏ならブラジルは真冬。地球の反対側の大都市サンパウロでは肌寒くて、飛行機でひと飛びしたアマゾンは赤道直下で厳しい暑さ。さすがに南米大陸でした。

アマゾン地区では、最初に「アンデスの声」をキャッチしてくださった野澤幸助さのお宅をたずねて取材させていただきました。開拓時代からのマナウス農業協同組合功労者で、親友の厳寒のシベリア捕囚からアマゾンへ移住され文才に長けた80歳の錦戸理平さんも熱心な「アンデスの声」の愛聴者で折々にひらかれる句会の様子なども筆まめに書いてきてくださいました。一方、野澤さんと「アンデスの声」との出会いは1960年、日本からアマゾン第3次入植者が来た折にソニー短波受信機をみせてもらい、それをお借りして番組を聴いたのがきっかけでした。裸一貫で入植し、やっと野菜が収穫できるようになった頃で、原生林の伐採、山焼きなど

「寄せ焼き」をし、米を撒いたものの収穫はうまくいかず落胆していた時だったそうです。人様のラジオとはいえ、日本語の番組が耳に入ってきて慰めと励ましのことばをかけていただき、どんなにこころの支えとなつたか知れません。その後、アマゾン河口のマナウス市が自由貿易港となつたので、長男が私たちのために初めての給料で現地組み立ての短波受信機を買ってくれました。乾電池8本で音質もよく、早速、「アンデスの声」のことを周辺の日本人移住者の方々にも知らせてあげたので大変によろこばれました。”（野澤幸助さん談）



月昇り江を照らせばさすらいの消えて明るき旅路の未来
東からアンデスの声聞こえくる朝日と共に巡りくるのか
アンデスを越えて流れてアマゾンをくだるしづくよ生命の糧
琴線の響くタバはたのしくてダイヤル握り遠耳かたむく
アンデスの声の盡波は鳩となり西へ南へ天翔りゆく

— アマゾン在住の尾崎貞吉さんの詩集より —

左から野澤幸助さんと錦戸理平さん



サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峰野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送			
3月04日	マリンバの調べ (スペイン特集)	3月05日	聖書遊覧バス 旧約聖書 ヨシュア記10章		
3月11日	アメリカ新発見 (オハイオ州他)	3月12日	聖書遊覧バス 旧約聖書 ヨシュア記13章		
3月18日	南米ふれあいの旅 (錦戸理平他)	3月19日	聖書遊覧バス 旧約聖書 ヨシュア記14章		
3月25日	女ばかり南米大陸をゆく (太陽の門)	3月26日	リスナーからの「お便り交換の時間」		

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15.420kHz (再放送) 午後8時～8時30分 11.905kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

